

食品安全関係情報(5月18日～5月31日 収集分※)について

資料9-1

「食品安全関係情報」として食品安全委員会が収集したハザード毎の地域別情報件数の概要

5月18日～5月31日 収集件数 (合計114件)		国際機関	北米		欧州		大洋州	アジア		中南米等	その他
		WHO・FAO等 (6件)	米国 (14件)	カナダ (2件)	EU、EFSA (38件)	各国 (15件)	FSANZ等 (6件)	中国 (9件)	各国 (4件)	各国 (1件)	報道、論文等も含む (19件)
化学物質	化学物質・汚染物質 (8件)	0	0	0	0	1	0	1	3	0	3
	食品添加物 (4)	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0
	農薬 (28)	0	7	0	19	1	1	0	0	0	0
	動物用医薬品 (2)	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	器具・容器包装 (1)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	43件 その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
微生物・プリオン・自然毒	細菌 (9件)	1	2	0	0	2	0	2	0	0	2
	ウイルス (17)	2	0	1	1	1	0	4	0	1	7
	原虫・寄生虫 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	プリオン (3)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	植物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	カビ毒(マイコトキシン) (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	動物性自然毒 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	33件 その他 (4)	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0
新食品等	新食品 (1件)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
	GMO (7)	0	3	0	1	1	1	0	0	0	1
	健康食品 (2)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	アレルギー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	クローン (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	放射線照射 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ナノテクノロジー (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10件 その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肥料・飼料等	肥料 (1件)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	飼料 (7)	0	0	0	6	0	0	0	0	0	1
	8件 その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	表示 (1件)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	放射性物質 (1)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	20件 その他 (18)	0	1	0	5	6	3	0	0	0	3
海外の食中毒	細菌 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ウイルス (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0件 その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海外のリコール	化学物質 (0件)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	微生物 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	異物混入等 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	表示違反 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0件 その他 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※収集期間については、主たる期間をいう。

食品安全関係情報(5月18日～5月31日収集分 114件)のうち、主なものの紹介

(詳細及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fsciis/>)をご覧ください)

【化学物質】

- ・ 欧州連合(EU)、植物防疫製剤のネオニコチノイド系有効成分クロチアニジン等3品目の認可条件を一部変更し、当該成分を含有する植物防疫製剤で処理された種子の使用及び販売を禁止
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、農薬有効成分エトキシキンについて既存の残留基準値の見直しに関する理由を付した意見書を公表
- ・ ドイツ連邦リスク評価研究所(BfR)、フタル酸ビス(-2エチルヘキシル)(DEHP)は、主として食品を介して摂取されるとのプレスリリースを公表

【微生物・プリオン・自然毒】

- ・ 国際獣疫事務局(OIE)、第81回総会の主な決議事項(日本のBSEステータス含む)を公表
- ・ 国際連合食糧農業機関(FAO)、カンピロバクター症に関する世界的見解を公表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)及び欧州疾病予防管理センター(ECDC)、イタリアの居住者及び旅行者に発生したA型肝炎ウイルス集団感染に関する合同評価書を公表

【新食品等】

- ・ 米国農務省動植物検疫局(USDA APHIS)、未認可の遺伝子組換え小麦がオレゴン州で発見された旨発表
- ・ 米国農務省動植物検疫局(USDA APHIS)、オレゴン州で発見された未認可の遺伝子組換え小麦に係るQ&Aを発表
- ・ 欧州食品安全機関(EFSA)、遺伝子組換え(GM)動物の環境リスク評価に係るガイダンスを発表
- ・ フランス食品環境労働衛生安全庁(ANSES)、紫外線(UV)照射でビタミンD含有量を増量した乳を新開発食品(NF)として市場流通させる認可申請について意見書を公表
- ・ オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関(FSANZ)、消費者向けに報告書「遺伝子サイレンシングを用いて開発した遺伝子組換え作物及び食品の規制に関するハイネマンらの主張に対する対応」を公表

【その他】

- ・ 米国食品医薬品庁(FDA)、「輸入食品事前通知必須情報」最終規則を公布